

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費			部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	
				実施期間	H27～	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	①労働生産性							
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		5-2 女性が輝く社会づくり			

## 1 現状と課題

・創業支援拠点「信州スタートアップステーション」や「信州スタートアップ・承継支援ファンド」をはじめとして、様々な支援機関による支援が充実する中で、「信州型スタートアップ・エコシステム」の構築が進んだ。  
 ・今後は、同エコシステムが有効に活用されるよう県内各地における連携体制の充実等を行っていく必要がある。

## 2 事業目的

県内各地における支援機関同士の連携促進や情報発信の強化等を通して信州型スタートアップ・エコシステムの定着を図り、県内経済を担う次世代産業の創出を目指していく。

## 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①信州スタートアップステーションの運営	
・県内経済を担う次世代産業を創出するため、中小企業診断士や公認会計士の資格を持った専門コーディネーターが常駐する「信州スタートアップステーション」を運営	
＜主な起業家サポートメニュー＞	
・創業相談窓口、創業セミナー、ワークショップ ・アクセラレーションプログラム ・信州ベンチャーサミット、コンテスト	
・経営資源引継ぎ型創業支援 ・ファンドサポート事業	
②地域課題解決型の創業支援（ソーシャル・ビジネス創業支援金の実施）	
・地域活性化、過疎地対策、買い物弱者支援、子育て支援、社会福祉等の地域課題解決に資する事業で創業する者に対し、創業に係る経費を補助（上限200万円、補助率2分の1以内）	
・申請者及び採択者に対し、一貫した伴走支援を実施	

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	件	7	22	↗	49	↗	15	達成	・信州スタートアップステーションの支援効果を把握するための指標 ・R3年度の信州スタートアップステーションの支援を受けた者の創業件数見込みが15件であるため、同程度の水準を目標に設定	
②	信州スタートアップステーションでの相談対応件数	件	419	516	↗	500	↘	600	未達成	・信州スタートアップステーションの利用状況を把握するための指標 ・R3年度の信州スタートアップステーションの相談対応件数見込みが600件であるため、同程度の水準を目標に設定	
③	創業支援金を活用した創業件数	件	19	26	↗	21	↘	30	未達成	・創業支援金の支援効果を把握するための指標 ・例年の書類審査通過件数が40件程度であり、それに対する採択率を、事業計画作成支援を強化し約50%から75%に引き上げる。	

## 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	108,085	△ 21,766	86,319	32,154	78,771	2.1
R3年度	0	102,916	△ 14,869	88,047	44,839	76,281	2.1
R2年度	0	88,935	△ 22,000	66,935	33,553	55,189	2.1

事業番号	07 02 02	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>創業・承継支援強化事業費</b>		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①信州スタートアップステーションの運営</b></p> <p>創業前から創業後5年程度のもを主な対象とし、相談（230人が利用し、延べ500件）、セミナー（20回481名参加）、ワークショップ（4回60名参加）、アクセラレーションプログラム（6社支援）により、起業の機運醸成及びビジネスアイデアブラッシュアップ等を支援し、令和4年度は、相談を受け付けた結果、創業に至った件数は49件となった。また、2022年4月に設立した「信州スタートアップ・事業承継ファンド」から投資実行がされ、（6社）対象企業へ販路開拓等の支援を実施。地域経済の活性化、雇用の創出が期待され、開業率も順位を上げてきているところである。</p> <p><b>②地域課題解決型の創業支援（ソーシャル・ビジネス創業支援金の実施）</b></p> <p>支援金の受付・説明会の実施をするだけでなく、事前相談や、伴走支援員を2名配置し、きめ細かいサポートを行い、令和4年度は申請件数84件、書類審査選考通過件数40件、採択21件となった。過疎地域対策や買い物弱者支援、社会福祉などの多様な社会課題解決につながった成功事例も出てきている。</p>
---

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	<b>達成</b>
2020年から設置してきた信州スタートアップステーションが県内の中核的な創業支援拠点として認知が定着しつつあり、取り組みの成果として見え始めてきたところである。							
指標②	信州スタートアップステーションでの相談対応件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	<b>未達成</b>
県内の中核的な創業支援拠点として認知が定着している。一方、女性からの相談件数割合が31.6%、信州スタートアップ拠点がいない東信・南信の相談件数割合が27%と見込みより少なく、相談件数は同水準にとどまった。							
指標③	創業支援金を活用した創業件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	<b>未達成</b>
コロナ禍長期化もあり、書類申請件数、書面審査件数、採択率が昨年と同水準であり、創業件数も同水準にとどまった。							

## 8 今後の事業の方向性

<b>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州スタートアップステーションが県内の創業中核拠点として、定着しつつあるものの、地域の連携体制強化や女性起業家支援により、さらなる創業の裾野を拡大する必要がある。</li> <li>・創業支援金について、採択率向上に向けた取り組みを実施する必要がある。</li> </ul>	
<b>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州スタートアップステーションで地域創業応援プラットフォーム会議を2地域でモデル的に先行実施し、地域エコシステムの構築する。また、女性起業家相談窓口の創設、ポータルサイトの構築・SNS等での情報発信、コミュニティ構築を行うことで、引き続き創業の裾野拡大を図る。</li> <li>・創業支援金に係る個別相談会の充実及び信州スタートアップステーションとの連携により、採択率向上を図る。</li> </ul>	

事業番号	07 02 02	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>創業・承継支援強化事業費</b>		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>スタートアップ支援事業</b>		22,755 千円	35,714 千円	40,870 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	専門コーディネーターによる相談窓口（週5日稼働、1拠点あたり1人常駐）を設置 相談窓口設置（2拠点（長野・松本）各221日）		
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	創業支援機関やワーキングスペース関係者等が連携促進や情報交換を行う場である創業応援プラットフォーム会議の開催 創業応援プラットフォームプラットフォーム会議を1回開催		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>地域課題解決型創業支援事業</b>		32,434 千円	40,567 千円	37,901 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域課題解決型創業支援事業補助金（ソーシャル・ビジネス創業支援金）	補助金	県内の地域課題を社会的事業で解決する者の創業に要する経費を補助するとともに、伴走支援を実施 申請件数84件、書類審査選考通過件数40件、採択21件		